

2019年度 穀物乾燥機部品供給についてのお知らせ

日頃より、ご愛用頂き誠にありがとうございます。下記型式の穀物乾燥機は、2018年12月末日で補修部品の供給年限を迎え、ご提供できない部品がございます。提供出来ない部品に関しましては、ご理解いただけますようお願いいたします。また、更新の目安としても参考にいただければ幸いです。つきましては、下記の型式・年式をご確認の上、点検整備を行い安全にご使用ください。

※社団法人日本農業機械工業会の乾燥機の部品供給年限は生産後12年とされています。

熱風型 遠赤型 汎用型

A 平成 8～12年
(1996～2000年)

NCD-AX/AX2/
AX3/AXLC/
AX2LC/AX3LC



C 平成 2～7年
(1990～1995年)

NCD-CX/
CX2/CXV



G 昭和 63～平成 14年
(1988～2002年)

NCD-GX/
GX2/GXV/
GX7/GX8



G 平成 6～14年
(1994～2002年)

NCD-GXVLC/
GX7LC/
GX8LC



J 平成 8～15年
(1996～2003年)

NCD-JX/
JX2/JX3/
JXV/JXK



L 平成 2～7年
(1990～1995年)

NCD-LX/
LX2/LXV/
LXVLC



M 昭和 63～平成 9年
(1988～1997年)

NCD-MX/
MX2/MX3/
MXV/
MXVLC



M 平成 10～14年
(1998～2002年)

NCD-MAX/
MAXS/MAXLC/
MAX2/MAX2S



F 平成 5～9年
(1993～1997年)

NCD-FX/
FX2/FX3



S 昭和 63～平成 7年
(1988～1995年)

NCD-SX/
SX2/SX3/
SXV



X 昭和 59～62年
(1984～1987年)

NCD-X/
X II /X III



CD 昭和 62～平成 15年
(1987～2003年)

CD-7/9/9A/
9B/9K



VCD 平成 14～平成 16年
(2002～2004年)

VCD-702



A 平成 11～14年
(1999～2002年)

NCD-AX3F/
AX3F2/
AX3F3



D 平成 12～14年
(2000～2002年)

NCD-DXF



M 平成 11～14年
(1999～2002年)

NCD-MAXF/
MAXF2



N 平成 13～14年
(2001～2002年)

NCD-NXF



U 平成 13～15年
(2001～2003年)

NCD-UXF/
UXF2/
UXFK



A 平成 13～15年
(2001～2003年)

NCD-AXD



型式は、**熱風型** **遠赤型** **汎用型** でアルファベット順に並んでいます。お持ちの乾燥機の型式の数字の後に続くアルファベットをお選びください。

(例:遠赤型 NCD-50AX3F3 の場合、50の後の **A** の欄を確認)

乾燥機を安心してお使いいただくために

使用前後の点検チェックシート

※必ず電源を切り、アースを確認した後で点検を進めてください。

	使用前	使用后	点検項目	注意点・作業方法
【掃除】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	電源コードを抜いて掃除をする	落雷の影響で操作盤などが破損する場合がありますので、使用後は必ずコンセントからプラグを抜いてください。 火災予防のために、プラグにほこりがついていないか点検・清掃してください。プラグを接続したままで使用していると、ほこりでショートし、トラッキング現象で火災になる可能性があります。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	風胴金網の掃除	金網が詰まっていると乾燥ムラや乾きにくくなるなど乾燥の効率が落ちてしまいます。掃除はほうきやエアコンプレッサー、ブロウで飛ばすなどの方法があります。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	バーナ周りの掃除	「サーミスタ」という熱風温度センサーは、バーナ周りがほこり等で汚れていると、温度をうまく感知できなくなる場合があります。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	送風機内部の掃除	送風機ダクトをはずして送風機内部を掃除してください。ほこりがついてると回転のバランスが崩れ、振動の原因となります。 使用前であれば、ほこりは取れやすいのでほうきではうだけでも大丈夫です。その後、試運転時に「送風」を行うと中にあったほこりも取れます。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	シャッターベルト、下スクリューの掃除	掃除の方法は取扱説明書をご覧ください。シャッターベルトが減っていないか確認してください。また、下スクリューの掃除の際は、はじめにシートなどを敷いておくと後片付けが楽です。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昇降機下部の掃除	掃除の方法は取扱説明書をご覧ください。掃除後、外したふたが入りにくくなった場合、挿入レールに詰まっている粉や麦をほうきなどで取り除くと入りやすくなります。
		<input type="checkbox"/>	残粒をすべて出す	乾燥機の中に粉やごみが残ったままになると、ネズミが侵入したり、粉やごみの水分によって機内が結露してさびを発生する原因になります。 掃除の際は電源コードを必ず外して、掃除口から粉やごみをすべて出してください。
【燃料関係】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	油漏れはないか	燃料タンクのコックを閉めてください。燃料タンクやストレーナから油が漏れていた場合、火災の原因となるのですぐにご購入先へ連絡し、修理を依頼してください。
	<input type="checkbox"/>		エア抜き	方法は取扱説明書をご覧ください。配管中に空気があると乾燥中にバーナ異常で止まる原因になります。
		<input type="checkbox"/>	ストレーナに灯油をためて保存する	バーナストレーナカップに灯油をためた状態で保存すると、ポンプ内部を保護できます。
【試運転・その他】	<input type="checkbox"/>		ダクトはしぼらず、曲げずにまっすぐ取り付け	ダクトの付け方は、取扱説明書をご覧ください。 吹出口を壁に向けないでください。また、張りの角度がきついと空気を逃がすことができず乾燥時間が多くなってしまうので注意してください。風が正常に出ているか確認してください。
	<input type="checkbox"/>		昇降機バケットベルトの確認	バケットが偏ったり減ったりしていると、昇降機が詰まってしまいます。また、ベルトが緩んでいた場合も詰まるので確認してください。調整については取扱説明書の「点検・調整・整備」をご覧ください。 なお、ベルトが破損していた場合は交換が必要です。
	<input type="checkbox"/>		電源を入れて、それぞれの運転ボタンで試してみる	異音や異常表示が出ないか確認してください。 ネズミよけのふたを外さないと、安全装置が作動しバーナが着火しないことがあります。最低でも送風機のふたを外してから試運転してください。 また、乾燥機に触れている人がいないかどうか確認してください。

※点検・手入れの作業中に不具合を見つけたら、取扱説明書の「故障診断」をご覧ください。掲載されていない場合は、ご購入先までお問い合わせください。

※掃除や点検をすることで乾燥機の性能を維持することは、安心して使えることのほかに、無駄な燃料や電気の消費を抑えることができます。